

丹波の1ターン作家たちが集合 丹波の手仕事展 初開催

11月7日から23日の17日間、築120年のお屋敷（春日町棚原）で「第1回丹波の手仕事展×本上田邸」が開催されました。市在住作家による作品展示販売やワークショップ、ライブやカフェ、丹波の食べ物の販売が行われました。東京都など遠方からの来場もあり、約1,100人が訪れました。移住歴が長く、地域に根付いた1ターン作家が新たに移住してきた作家を地域の人に紹介するなど、地域の交流の場としての役割も果たしていました。



丁寧な手仕事でつくられた作品が並ぶ展示会

ふるさとを学び 地域のみらいを考える 小・中学校の取り組みを発表

11月15日に、氷上住民センターで「ふるさと・みらいを創る教育フォーラム」が開催されました。地域の人々との交流を通して、地域の歴史や文化を学び課題について考える「たんばふるさと学」の取り組みを紹介しました。

また、「たんばみらい塾」に参加した中学3年の生徒たちは「市の課題や地域で活躍する大人の姿を学び、自分たちのなりたい職業が地域の課題を解決できる可能性を感じた」と学んだ内容を発表しました。



たんばみらい塾の発表の際、司会を務めた清舞華さん

食育フェア開催 「らくらくごはん」レシピを配布



食育フェアでらくらくごはんのレシピを受け取る参加者

12月5日、春日文化ホールで食育について理解を深める「丹波市食育フェア」が開催され、食育活動の発表や食育・料理研究家の坂本廣子先生の子どもたちの食育についての講演が行われました。会場には、学校給食の試食コーナーもあり、実際に食べ物にふれて学べると好評でした。

また、ぐっすりすやすや運動の一環で、忙しい朝でも簡単にできる「らくらくごはん」のレシピが配布されました。参加者たちはよい睡眠には朝ごはんが重要だと学び、食を見直す機会としました。

投句総数 5,834 句！ 丹波の秋を満喫 たんば青春俳句祭



秋の丹波を楽しみながら俳句を詠む参加者

11月14日、俳人・西山泊雲の生家である(株)西山酒造場で「第15回たんば青春俳句祭」が行われました。

参加者は高浜虚子、西山泊雲などの句碑をめぐり、晩秋の丹波を感じながら俳句ラリーを楽しみました。公開選句会も行い、寄せられた5,834句の中から、選者と参加者が一緒に大賞と優秀賞を選びました。国内だけでなく、遠くアメリカワシントン州からの応募もあり俳句祭は大いに盛り上がりました。

ビッグスターが勢ぞろい！ 丹波竜フェスタ～最新の恐竜研究 2015～

12月6日、春日文化ホールおよびその周辺で「丹波竜フェスタ～最新の恐竜研究 2015～」が開催され、約500人の来場者でにぎわいました。映画「ジュラシックパーク」の主人公のモデルで世界的に著名な古生物学者フィリップ・ジョン・カリー氏や6月に新種の卵殻化石を発表した田中康平氏など5人が集まり、講演やパネルディスカッションを行いました。

世界レベルの最新研究発表に、参加者は熱心に聞き入っていました。周辺では化石発掘体験やグルメ屋台などもあり、参加者を楽しませていました。



最新研究内容の発表のようす

たんばエコフェスタ開催 リサイクルをテーマにした作品を表彰

11月15日、丹波市クリーンセンターでごみの減量化や資源化をテーマに「たんばエコフェスタ」が開催されました。約700人が来場し、フリーマーケットやリサイクル品無料引き渡し抽選会、リサイクル体験コーナーなどを楽しみました。

「リサイクル」をテーマにした作文・工作コンクールの表彰式も行われ、稲本琉愛さん（作文の部/進修小）、足立奨真さん（工作の部/船城小）が大賞を受賞しました。



辻市長から表彰を受ける稲本琉愛さん（進修小学校）



カリー氏と記念撮影できるLINEクーポンに当選した方々



化石発掘体験に親子で夢中



グルメ屋台で丹波の味覚堪能

平成29年4月 開校予定 市立青垣小学校校歌が初披露



参加者に歌唱指導中の佛教大学高見仁志教授

11月28日、青垣住民センターで自治会やPTAなど学校関係者約230人が参加し、平成29年4月開校予定の市立青垣小学校の校歌・校章・体操服がお披露目されました。校歌の歌詞や校章に込められた意味や意図が紹介され、参加者はその思いに理解を深めました。

作曲者の佛教大学 高見仁志教授の歌唱指導のもと、全員で校歌を歌い、平成29年の新学校開校へ向けて心をひとつにしました。